

「君影添」  
(きみかげそう)

脚本・竜崎だいち

〈登場人物〉

- ・ 鈴 (すず) 女
- ・ 蘭愛 (かな) 女

\* \* \*

ラブホテルの入室。

床に散乱した衣類。バスタオル。半分まで飲まれたペットボトルの水。

ずれ乱れたシート。独特のにおい。情事の後のような光景に、違和感がひとつ。奇妙なほどに紅いすずらんが生けられた水差しが、置いてある。

ベッドに二人の体。くぐもった声が聞こえる。楽しそうだ。

と、一人が布団から顔を出す。

すず

音楽、かけていい？

やっと聞こえる、鮮明な言葉。もう一人、返事をしない。

同意があったのか、すず、スマホをいじり、音楽が流れだす。

音楽の鳴るスマホを、ぽいっとベッドの上に放って。

すず

えーと、どこまで話したっけ。

すず、床にあった飲みかけのペットボトルの水を拾いながら。

すず

そうそう、猫をね、一匹飼うの。アメリカンショートヘアとか、毛足の長いアメリカンカールとか。猫っていいよね。ツンデレなところが超可愛い。放っとけーみたいな顔するくせに、離れたところの、ドアの隙間とかからジューツとこっち見てんの。構って欲しいの見え見え。けど、あえて放っとくの。そしたら、足元にスリスリしてくんの。もー身悶えしながら放っとくの。あー、猫飼いたいなあ。

すず

キッチンもモノトーンとかで揃えて、家電も出来るだけシンプルにして、オシヤレにするの。で、それを維持するの。これ大事、維持するの大事。油污れとかすぐにふき取るの。こびりついたら元も子もない。あ、今日の晩御飯どうしよっか。たしか冷蔵庫にキャベツしかないはず。

ゆっくりと、もうひとつの体が起き上がる。

それを見つめる、すず。

ゆつくりとベッドを下りる、かな。

かな  
すず

……トイレ……。  
ほい。

かな、トイレに入る。

かながトイレにいる間、すず、音楽がかかったままの携帯をいじる。

やがて、紅いすずらんが生けられた水差しを見る。

手を伸ばし、すずらんに触れようとする。

水の音が聞こえて、かながトイレから出てくる。

伸ばした手を引っ込める。

かな  
すず

うちのマンション、ペット禁止だったよね。

え。

猫。飼いたいなら引っ越さないと。うちのマンション、ペット禁止だから。

ごめん、引っ越す前提でしゃべってた。

日本脱出したい。

え。

アイルランドに住みたい。

唐突。

言った事なかったっけ。

初耳。

自然に囲まれて暮らしたい。

日本も結構緑多くない？

真夏と真冬はお腹いっぱい。あと湿気。

アイルランドって氣候いいの？

少なくとも日本よりいい。

わたし英語できないよ。

大丈夫、日常会話ぐらいならわたしが出来る。

海外移住か。

夢語っていいんですよ。

そう。

わたしは日本脱出一択。

なるほどなー。

ねえ、ホテルのまкруらって固くない？

かな  
すず

かず え？  
かな 寝にくい。  
かず 起きれば。  
かな 眠い。  
かず わがまま。  
かな すーちゃんちのベッド、寝やすいから好き。  
かず ふーん。ベッドが好きなんだ。  
かな はあ。  
かず なに？  
かな すーちゃん。明日行っていい？  
かず ……。  
かな ねえ。  
かず ……いーよ。  
かな いえーい。  
かず いえーいって。ほぼ毎日来てるくせに。  
かな でも改めて「行っていい？」って言われたら、ちょっとドキッとするでしょ。  
かず ……。  
かな ね。  
かず ……まあ。  
かな へー、ドキッとしたんだ、かわいい。  
かず ……今日は来ないんだ。  
かな 今日は仕事。  
かず 持ち帰り？ しない主義なのに。  
かな 今回はどうしてもねー。月末のコンベンションに間に合わせないと。  
かず 社会人は大変だねえ。  
かな ー、そうねー。  
かず あ、DVD見た？  
かな あ。見てない。  
かず 返却期限、明日の朝。  
かな まじか。帰ったら渡していい？ 一緒に返しといて。  
かず えー、見ないの？  
かな 今日はさすがに無理。  
かず えー。  
かな 今度アマプラで探すわ。やっぱツタヤってダメだわー。一週間短すぎ。  
かず あーあ、見て欲しかったのになー。

かな だから、ネットで借りて見るから。  
すず 絶対見ない。

かな ……まあ、そうね。

すず あーあ。一緒に語りたかったなー。

かな すーちゃん。

すず なにー。

かな DVD、返しといてくれる？

すず むー。

かな ビールつけるから。

すず ビールそんなに好きじゃない。

かな 知ってる。

すず むー。

かな じゃあ、豆乳。

すず ちっちゃいやつ？

かな ファミリーサイズ。未開封。

すず 今度もう一回借りてくる。今度は一緒に見よ。

かな 分かった。

すず、かなの隣に寝ころぶ。

かな なに。

すず へー。いいね、のんびり。

かな けど、やつぱりわたしはすーちゃんの部屋の方が良いや。やつぱこういうところは苦手。

すず 一回来てみたかったんだもん。

かな 気に入った？

すず 嫌いじゃないよ、お風呂広いし、一緒に入れるし。

かな すーちゃんの部屋なら隣で楽ちんだし。

すず まさか面倒なだけ？

かな どうだろうね。

すず 否定してよー。

かな すーちゃんはさあ、おばさんと連絡取ってる？

すず ……。

かな たまにこっちに連絡来るんだよ。「うちの鈴は元気ですか？」って。

すず ……。

かな 就活のためにこっち来たんでしょ。  
すず ……。  
かな うちで良かったら紹介してあげるよ。  
すず それは無理。わたし、パソコンとかデザインとか絶対無理。  
かな ウェブデザイナー。慣れたら誰でもやれるけど。  
すず 無理無理無理無理。  
かな センスあるとは思うんだけどね。インテリアの趣味も良いし。それに、わたしは、すーちゃんと一緒にいられる時間増えるからうれしいけど。  
すず それはわたしも嬉しいけど、だめ、無理無理無理無理。  
かな すーちゃん。  
すず 別の話しよ。  
かな ……。  
すず 別の話がいい。ね。  
かな ……。チェックアウトまであと何分？  
すず あと……。一時間くらい。  
かな じゃ、もう少しダラダラ出来るか。  
すず うん。  
かな ゲームしよっか。  
すず ゲーム。  
かな 反対語ゲーム。  
すず なにそれ。  
かな 相手の言った言葉の反対語を言うゲーム。三つ数える間に言えなかったらその人のまけー。  
すず 負けたら？  
かな 負けたら、相手の知らない秘密を一つ白状することー。  
すず なにそれー。  
かな はい行くよー。右の反対は。  
すず え、左？  
かな そーそーそー。次すーちゃん。  
すず んー、じゃあ。朝の反対は。  
かな 夜。  
すず まあ、そっか、そうだよね。  
かな じゃあねー、赤の反対は。  
すず しろ。あ、でも。  
かな なに。

すず じゃ、黒の反対は。  
かな しろ。  
すず ほら、おかしくない？  
かな じゃ、青の反対は。  
すず あか。あれ？  
かな 別にいーの。だって、別に間違ってるって思わなかったでしょ。  
すず うん。  
かな 私とすーちゃんが合ってるって思ったならそれでいーの。これは、そういうゲーム。  
すず うん、わかった。  
かな じゃ次。  
すず じゃあ、北の反対は。  
かな 南。西の反対は。  
すず 東。上の反対は。  
かな 下。前の反対は。  
すず 後ろ。これ面白いね。じゃ、風の反対は。  
かな かぜ？ 病気の？  
すず ううん、吹いてる風。  
かな えー。風？ 風の反対語？  
すず 1、2、3、はい、アウトー。  
かな えー、難しいー。答えは？  
すず 答え？ 答えはー、……部屋？  
かな 部屋？  
すず 風、吹かないから。  
かな なにそれ。じゃ扇風機は。  
すず あれは人工的な風だから、カウントに入りませーん。  
かな なにそれ。  
すず はい、じゃ罰ゲーム。  
かな すーちゃんの知らないことね。えっとねー。  
すず 私、かなちゃんのお話聞くの好き。  
かな そうなの？  
すず うん、知らないこといっぱい聴けるから。  
かな 面白い話なんて全然ないよ。なに聞きたい。  
すず お仕事場ではなし。  
かな (体現しつつ) こんな感じで仕事してる。

かず あー、だいたい想像つく。  
かな 眉間にしわ寄せて。  
かず 想像できる。  
かな 背中丸めて。目しばしばさせて。  
かず それ、いつものかなちゃんじゃん。  
かな 手元にはロイヤルミルクティーがある。  
かず それ知らない。  
かな 会社で流行ってるの。濃縮紅茶。割って飲む紅茶。うちのチームの後輩君が持  
かず ってきたんだけど、女子が食いついて一気に流行って。  
かず 美味しいの。  
かな 頭使い過ぎてクタクタの時に飲むと、染みるんだな。  
かず 甘い苦手のくせに。  
かな そうなんだけどね。「小川さんスペシャル」だったら飲める。  
かず ……なにそれ。  
かな 後輩君が見つけた名前。小川さんは甘い苦手だけど、これぐらいだったらどう  
かず ですか、って、わざわざ、わたし好みにブレンドしてくれるの。「小川さんス  
ペシャル」。ほぼホットミルクなんだけど、ほのかに紅茶の香りがして、すこ  
かず しだけ甘くて、美味しいの。  
かず そうなんだ。  
かな 後輩君。7つ年下なんだけど、わりと大人びてる子で、もっと年が近いって錯  
かず 覚するんだけど、たまにめっちゃめっちゃ子供っぽくて、笑っちゃうの。食べ物の  
趣味が結構似てて、給湯室でおんなじ激辛カップ麺の蓋開けてるの見た時は、  
かず 思わず笑っちゃった。あれお昼に食べてる人わたし以外で初めて見た。  
かな その後輩君と、仲いいんだ。  
かず こないだ、告白された。  
かな ……。  
かず その後輩君に。  
かな ……へえ。  
かな あたしがなんて答えたか、知りたい？  
かず ……。  
かな ね。  
かず ……ん。  
かな いま、つきあってる。  
かず ……。  
かな すーちゃん。



すず 今度はどのくらい続くかな。

かな もー、縁起の悪いこと言わないでよー。今度は長続きするように頑張るもん。

すず はいはい。がんばって。

かな すーちゃん。

すず なに。

かな ……ごめんね。

すず いーよ。かなちゃんはさみしんぼだから、仕方ないんだよね。

かな そう、あたしさみしんぼだから。しかたないの。

かな、そう言っつてすずにすり寄る。

かな 寄り添ってないと、崩れちゃうのよ。

すず ……。

すず、寄りかかってきている、かなの頭をなでる。

すず 知ってるよ。

かな ごめんね。

すず いーよ。

かな ……ありがとね、すーちゃん。

すず ……。

かな ゲームの続き、する？

すず しない。

かな じゃ、どうする？

すず 罰ゲーム、今度はわたしの番。

かな え。

すず わたし、お母さんと喧嘩した。

かな すーちゃんゲームに負けてないのに。

すず いーの。喧嘩して、家出してきた。

かな どうして。

すず ……いらつくから。

かな ……どんどこが。

すず ぜんぶ。知らない男の人平気で家にとげるとこも、娘にのろけ話聞かせるところ、全部。

かな あたしは、お婆さんのそういう人間ばいところ、わりと好きだけどな。

すず それは、他人だから。自分の母親だったら、耐えられない。  
かな すーちゃん。全部聞かせて。  
すず ……。  
かな 受け止めてあげるよ。  
すず ……。  
かな すーちゃんがあたしのところに甘えに来なきゃいけないぐらい、悲しいって  
すず 思った事。ぜんぶ。  
すず ……。  
かな ……。  
すず 今がずっと続けばいいのに。  
かな 続くよー。  
すず ほんとに。  
かな すーちゃんはやめちゃうの？ あたしと会うの。  
すず やめない。  
かな でしょ。あたしもやめない。二人がやめないなら、ずっと続くよ。  
すず そっか。  
かな そうよ。  
すず そっか……。  
すず すぐ、立ち上がる。すずらの入った一輪挿しを手取る。

かな それなあに。  
すず なんでしょー。  
かな クイズ？  
すず すずらん。  
かな えー、クイズじゃなかったの？  
すず うん。  
かな めずらしいね、赤いの。  
すず これはピンク。ピンクスズランって名前書いてあった。  
かな へー、赤に見えた。珍しいね。  
かな うん、珍しいから、買ってきちゃった。  
かな かわいいね。  
すず そう？  
かな うん。かわいい。  
すず ……。

かな 鈴蘭。すーちゃんのお花。

すず ……。

かな 春になったら、玄関にいつも飾ってあったよね。

すず ……。

かな おばさんから聞いたことあるよ。

すず ……。

かな この花は、5月生まれなの、すーちゃんの誕生花。

すず、一輪挿しからすずらんを抜き、地面に捨てる。

かな ……。(じっと見ている)

すず わたしは、嫌い。

かな すーちゃん、好き。

すず 嫌い。

かな すき。

すず かなちゃん！ ゲームやってるわけじゃないんだよ。

かな すーちゃん、すきよ。

すず わたしは……。

かな なに。

すず わたしはほんとに、かなちゃんが好きなんだよ。

かな あたしもだよ。

すず 嘘つき。

かな 嘘じゃないよ。

すず ……知ってる。

かな でしょ。

すず 知ってる、けど。

かな けど、何？

すず けど……だけど！

すず、少し乱暴に、かなを押し倒し、馬乗りに覆いかぶさる。

かな ……もう一回、する？

すず ……。

すず、手に持っていた一輪挿しの水を、かなの顔にかける。

まるでその水を飲ませるように、優しく、少しずつ。  
水差しとかなの顔のあいだに、細く長く引かれる水の線が、美しい。  
かなは、されるがまま、動かないでいる。

かな ……すーちゃん、冷たい。

すず ……。

かな ……。

すず ねえ、かなちゃん。

かな なあに。

すず かなちゃんは、どうしてまだ、喋ってるの。

かな ……。

すず ねえ。なんで。

かな ……。

すず わたしさつき、触って確認したよ。

かな ……。

すず その時にはもう、冷たくなってたのに。

かな、ゆっくり起き上がる。人間らしくないくらいに、ゆっくりと。

そのまま、すずを優しく抱きしめる。すず、されるがまま。抵抗しない。

かなの両腕に包まれ、沈黙していたすず、ゆっくり話し始める。

すず その日ね、わたしがバイトから帰ってきたら、お母さんが泣いていたの。その日は、大学からのバイトで疲れてたし、きつとまた振られたんだろうと思って、面倒で、早足で部屋に戻ろうとしたんだけど、案の定、すーちゃんって呼び止められて、わたしは廊下で立ったまんま、お母さんは居間のソファでふて寝状態で、話聞く羽目になった。

かな おばさん、なんて。

すず 今付き合ってる人のこと、お母さんすっごい好きで、色々遠回りしたけど、や

っとこの人に会えたって毎日ウキウキしてて、もう50過ぎてるのに少女みたいで、お母さんをそんなふうにさせる相手の人すっごいなって、純粹に思ってた。相手の人も、お母さんのことすっごい好きで、年の割には若く見えて、お母さんより4つ年上なのに、たまに少年みtainな透き通った目で、お母さんを見る時があつて、はたから見ても恥ずかしいくらいだった。お似合いだと思

かな 結婚して欲しかった。

すず わかんない。

かな なんでも。

すず して欲しかった。と思う。

かな すーちゃん、お母さんのこと好きだもんね。

すず お母さん、わたしに相談してきたの。相手にこうしてくれって言われたこと、

その時はどうしても、望みを叶えてあげられなかった、それを後悔してるって。

普通のことじゃないと思ったし、常識で考えて、真面目に言ってるなんて思え

なかったから、だから、いい子を演じて、いやだって、断った、って。だけど、

今改めて考えたら、そうじゃなかったかもしれないって言うの。相手の人の言

うように、そうした方が良かったかもしれないって考えるんだって、わたしに

言ってくるの。

かな 相手の人、なんて言ってきたの。

すず ……。

かな すーちゃん。

すず その人はね、愛を告白する時みたいに、透き通ったまっすぐな目をして言った

んだって。今、あなたのその手で、僕を殺してほしい、って。

かな ……。

すず 今、この瞬間に死ぬことが、僕の一番の幸せだって、言ったんだって。お母さ

んはもっと一緒にいたいから断った。もっともっというんな思い出作りたい

し、長く一緒にいることが幸せだって、誰でも思うし、何より、人を殺すこと

は悪いことだって、世間では絶対的にそうだし。だけど、もしかしたら、そう

じゃなかったかもしれないって、お母さん言うの。あの人の言うように、あの

時に死んでいたら、今、こうやって泣かずに済んだし、離れて会えなくて寂し

く思うこともない。私たちは幸せのまま。だから次、同じように言われたら、

お母さん、その人の望みを叶えてあげたくなくなるかもしれない。って、わたしに

相談してきたの。

かな、すずを抱きしめる。

かな すーちゃん。もっと聞かせて。

すず ……。

かな あたしが全部受け止めてあげるから。

すず ……。

かな ……。すーちゃんが悲しいって思った事。ぜんぶ。

すず わたしは、ほんとに、かなちゃんが好きなんだよ。

かな ……。

すず ……。

かな うん。

すず 小さい時からずっと。お隣の優しいお姉さんで、いつも一緒に遊んでくれて。

かな うん。

すず わたしが大きくなって、秘密の遊びも教えてくれて。

かな うん、ごめんね。

すず かなちゃんの全部独り占めにしたいって思うぐらい。わたし、かなちゃんが好

きだったんだよ。

かな うん。

すず だから、お母さんの言うこと、わたしにも分かるかも知れないって思ったんだ

よ。

かな ……。

かな、体の力が抜ける。

ずるずると、すずの身体を伝って崩れてゆき、

やがて、ベッドの上に倒れ込む。

そのまま、動かなくなる。

すず ……。

すず、かなの身体をずっと見ている。少し、撫でてみる。動かない。

すず 音楽、かけていい？

かな、返事をしない。

すず、スマホをいじり、音楽が流れ出す。

音楽の鳴るスマホを、ぽいっとベッドの上に放って。

すず えーと、どこまで話したっけ。そうそう、猫をね、一匹飼うの。アメリカンシ

ョートヘアとか、毛足の長いアメリカンカールとか。猫っていいよね。ツンデ

レなところが超可愛い。放つとけーみたいな顔するくせに、離れたところの、ド

アの隙間とかからジューッとこっち見てんの。構って欲しいの見え見え。けど、

あえて放つとくの。そしたら、足元にスリスリしてくんの。もー身悶えしなが

ら放つとくの。あー、猫飼いたいなあ。

部屋は、静かだ。

すず

名前はね、「かなちゃん」にするの。わたしがいないとかなちゃん、ご飯も食べられないんだよ。やんちゃだから、家中走り回って、家中毛だらけになって、玄関の花瓶とか割っちゃって。いつもは許しちゃうんだけど、春だけは気をつけないと。だって、鈴蘭には毒があるんだよ。生けた水を飲んだだけでも、最悪、死んじゃったりするんだって。かわいい花なのに、怖いよね。

すず、一輪挿しに残った水を見つめる。

その水に、口をつけ、飲み干す。

すず

(スマホを見て) げ、もうすぐチェックアウト。その前に、トイレレッツ。

すず、トイレに入っていく。

スマホからは音楽がずっと流れている。

すずは、トイレから出てこない。

幕

【上演記録】

満月動物園・羊とドラコ共同製作

「愛欲巡遊社」 ～13の物語、7つの部屋を巡る演劇ツアー～

●日時

2018年10月18日（木） ～ 21日（日）

●会場

ホテル千扇（ちせん）

大阪市都島区東野田町3-7-4

京阪本線・JR環状線・東西線「京橋」駅より徒歩3分

●出演

鈴 濱田ひかり

蘭愛 江本真里子